

サーカス

中原中也

幾時代かがありました

茶色い戦争ありました

幾時代かがありました

冬は疾風吹きました

幾時代かがありました

今夜此処での一と殷盛り

今夜此処での一と殷盛り

サーカス小屋は高い梁

そこに一つのブランコだ

見えるともないブランコだ

頭倒さに手を垂れて

汚れ木綿の屋蓋のもと

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん

その近くの白い灯が

安値いりボンと息を吐き

観客様はみな鯛

咽喉が鳴ります牡蠣殻と

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん

屋外は真ツ闇 闇の闇

夜は劫々と更けます

落下傘奴のノスタルヂアと

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん

【著者】 中原 中也 (なかはら ちゅうや)

一九〇七 (明治四〇) 年—一九三七 (昭和一二) 年
詩人。山口県の生まれ。

【著書】 『山羊の歌』 『在りし日の歌』 など